

登米の力 とめのちから 登米の地から

ヴォイストレーニングセミナーを開催しました！

地方振興部

平成30年12月11日に、登米総合産業高等学校の商業科1年生を対象とした「ヴォイストレーニングセミナー」を開催しました。

最近の高校生について、「人前で話すことが苦手」「自分の意見をうまく伝えることができない」という意見が多く聞かれます。また、高校生の就職先である企業からも、新卒就職者のコミュニケーション力向上が喫緊の課題の一つとして挙げられています。

そこで、高校生に発声の仕方やし話し方、コミュニケーション力などを養ってもらい、将来の登米地域の産業を支える人材を育成することを目的として、セミナーを開催しました。

講師をしていただいたのは、ヴォイス&トーク代表の赤間裕子氏です。赤間氏は、これまで放送局のアナウンサーやキャスターとして活躍し、現在は、企業、団体、自治体等でコミュニケーションに関する研修やセミナーを行っているほか、宮城学院女子

大学英文学科の講師を務めるなど、幅広い分野で活動されている方です。

講義では、手鏡を用いた表情の確認やお辞儀の練習など実践形式を中心に、返事の大切さ、第一印象の重要性、相手に伝わりやすい話し方のほか、目や口を動かすフェイスアプローチや若者言葉など現代の若年層が苦手としている点についてもお話をいただきました。併せて、就職面接の基本やビジネスマナーについても学びました。

受講した生徒たちは、発声練習で大きな声を出すなど積極的な姿勢が見られました。また、「自分にとって役に立つことだった」「発声トレーニングで口を動かすのが楽しかった」などの感想もあり、楽しみながら学んでいました。

今後も登米地域の将来を担う人材の育成に向けて、支援していきます。



講義の様子

宮城県農林産物品評会で 山内勉さんが農林水産大臣賞を受賞！

農業振興部

宮城県庁で「平成30年度宮城県農林産物品評会および花き品評会」が平成30年10月20日～21日に開催されました。

総出品点数は505点で、そのうち40点が登米市から出品されました。野菜の部で中田町の山内勉さんのきゅうりが農林水産大臣賞を受賞する

など、登米市からは計7点が入賞しました。

山内さんは、平成20年と平成27年に続き、3度目の受賞となり、今後も県内第1位のきゅうり産地の誇りを胸に、更なる品質向上を目指します。



農林水産大臣賞を受賞した山内勉さん

平成30年度 宮城県農林産物・花き品評会 受賞者名簿（登米市分）

○宮城県農林産物品評会						
部門	品目名	品種名	順位	住 所	氏 名	賞
果菜類	きゅうり	はやか	1席	登米市中田町	山内 勉	宮城県知事賞(1等) 農林水産大臣賞
水 稻	うるち玄米	ササニシキ	2席	登米市豊里町	佐藤 幸治	宮城県知事賞(2等) 政策統括官賞
水 稻	うるち玄米	ひとめぼれ	3席	登米市豊里町	佐々木 礼蔵	宮城県知事賞(2等) 宮城県農業協同組合中央会長賞
果 実	りんご	シナノスイト	2席	登米市中田町	猪股 剛	宮城県知事賞(2等)
水 稻	うるち玄米	ササニシキ	5席	登米市豊里町	佐々木 金三	宮城県知事賞(3等)

○宮城県花き品評会						
部門	品目名	品種名	順位	住 所	氏 名	賞
花き	シクラメン	アパニコ	銀賞	登米市迫町	伊藤 貴和子	
花き	ガーデンシクラメン	MIC	銀賞	登米市中田町	相澤 圭治	

高病原性鳥インフルエンザに備えて

東部家畜保健衛生所

当所は登米・気仙沼・石巻地域を管轄しており、高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、関係機関や団体と連携しながら各地域で防疫演習等を実施しています。

防疫演習では、県地方振興事務所（地域事務所）や保健所と連携し、鳥インフルエンザの概要や防疫作業内容、発生時の地域支部体制等を説明するとともに、防疫作業員を受け入れる支援センターの設置運営や防護服着脱等の一連の流れにつ

いて確認しました。また、建設業協会各支部及び農業農村整備部と連携し、埋却穴の掘削や石灰散布等の埋却演習も実施しました。

高病原性鳥インフルエンザの発生予防で最も重要なことは、養鶏場における飼養衛生管理基準に基づく日常の衛生管理の徹底ですが、引き続き、家きん飼養者や関係機関と連携しながら発生予防に努めていきます。



防疫研修の様子



埋却演習の様子

広島県府中市への災害復旧支援

農業農村整備部

平成30年7月の豪雨により被災した広島県府中市から支援要請があったことから、県では3班体制で現地の農業用施設等の被害調査を実施しました。当部からは2名が応援に行きました。

現地では、災害連絡票を基に被害現場に向かい調査を実施するという業務でしたが、職員らには土地勘がなかったため、まず現場に到着すること

が大きな課題でした。そこで、インターネットの地図サービスを頼りに被災箇所をまわり、調査した場所を記録しながら対応しました。それにより、支援終了後の府中市への引き継ぎを円滑に進めることができました。このような、情報共有は災害復旧に関わらず、重要なことです。

一日も早い復興を願っています。



現地調査の様子①



現地調査の様子②

SDGsとFSCの認知度向上に向けて

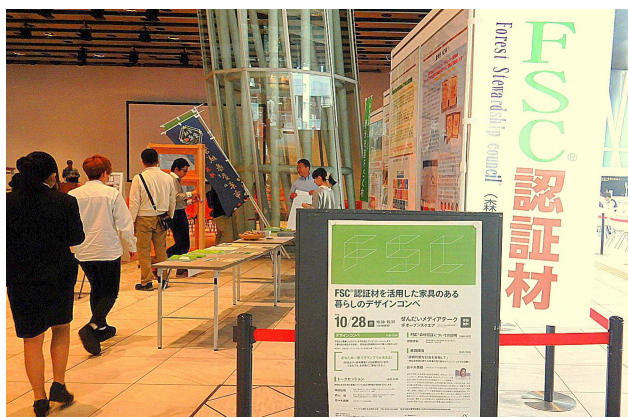
林業振興部

登米市森林管理協議会が主催するFSC森林認証の普及啓発と2015年国連サミットにおいて加盟国全会一致で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、日常の生活空間におけるFSC製品の普及を目的としたPRイベントを支援しました。

当日は、当部からSDGsの実現に向けてFS

C認証製品活用が大きく貢献することを紹介しました。また、登米市森林管理協議会の取組内容やSDGsとFSC森林認証制度を紹介したパネル等の展示PRも併せて実施しました。

イベントには、約300人の方々にお越しいただきました。今後もSDGsとFSC森林認証制度の普及啓発に努めていきます。



イベントの様子①



イベントの様子②

H I V および梅毒迅速検査について

東部保健福祉事務所登米地域事務所

WHO（世界保健機関）は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的とし、12月1日を「世界エイズデー」と定めています。県では、この「世界エイズデー」に合わせて、各保健所において1時間ほどで結果がわかる迅速検査を実施しており、登米保健所では11月29日に行いました。

H I Vとは、エイズの原因となるウイルスです。免疫の中心となる白血球が障害され、病気から守る免疫力を低下させます。エイズとは「後天性免疫不全症候群」を略した言葉で、H I V感染後すぐに発症するわけではなく、発症には個人差があります。エイズを発症すると、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、さまざまな病気を発症します。しかし、医療の進歩により、エイズ発症を予防したり、遅らせたりすることができます。

では、自分が感染しているかどうかの判断は、どうすればいいでしょうか。献血では、判断することはできませんので、保健所や医療機関で検査を受けましょう。専門の場所で受検することで、H I Vやエイズに関するさまざまな情報を入手することができたり、安心して相談できたりします。

他にも、性感染症の1つである梅毒の感染者数も全国的に増加しています。性感染症は、不妊症や母子感染の原因となることがあるため、予防行動をとることが必要です。

H I V および梅毒検査について

迅速検査だけでなく、通常検査も行っています。H I V および梅毒検査を実施することで、早期発見によるH I V および梅毒感染者の治療の促進と、エイズを含む性感染症に関する正しい知識の普及啓発に努めています。

- ①検査は予約制となっておりますので、事前にご連絡ください。※検査日時は、毎月第2、4木曜日の9時00分から12時00分です。（祝祭日は未実施。事前に電話で確認してください。）
- ②検査は匿名で受けられます。※原則無料となります。ただし事前の問診によって、感染の可能性が否定できる方等については、有料となります。
- ③受検される方のプライバシーが厳守されるよう、個室で問診等を実施し、他の来所者に受検を知られることなく受検できます。

※登米保健所では、他にもさまざまな検査を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。



H I V検査の様子（イメージ）

<登米保健所からのお知らせ>

管内でインフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）の発生報告が増加しています！

- トイレの後、食事の前、調理の前、外出後などに石けんと流水で手をよく洗いましょう。
- 咳やくしゃみが出るときは、なるべくマスクを着用し、咳エチケットを心がけましょう。
- 空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。適度な湿度（50～60%）に保つことも予防に効果的です。
- 食品は十分に洗い、中心までよく加熱（中心部が85～90℃で90秒以上）しましょう。

登米保健所では、管内の感染症の概要や感染症対策について、出前講座を実施しております。詳しくは下記までお気軽にご相談ください。

電話：0220-22-6119（疾病対策班）

みやぎ県北高速幹線道路（中田工区）が開通しました！

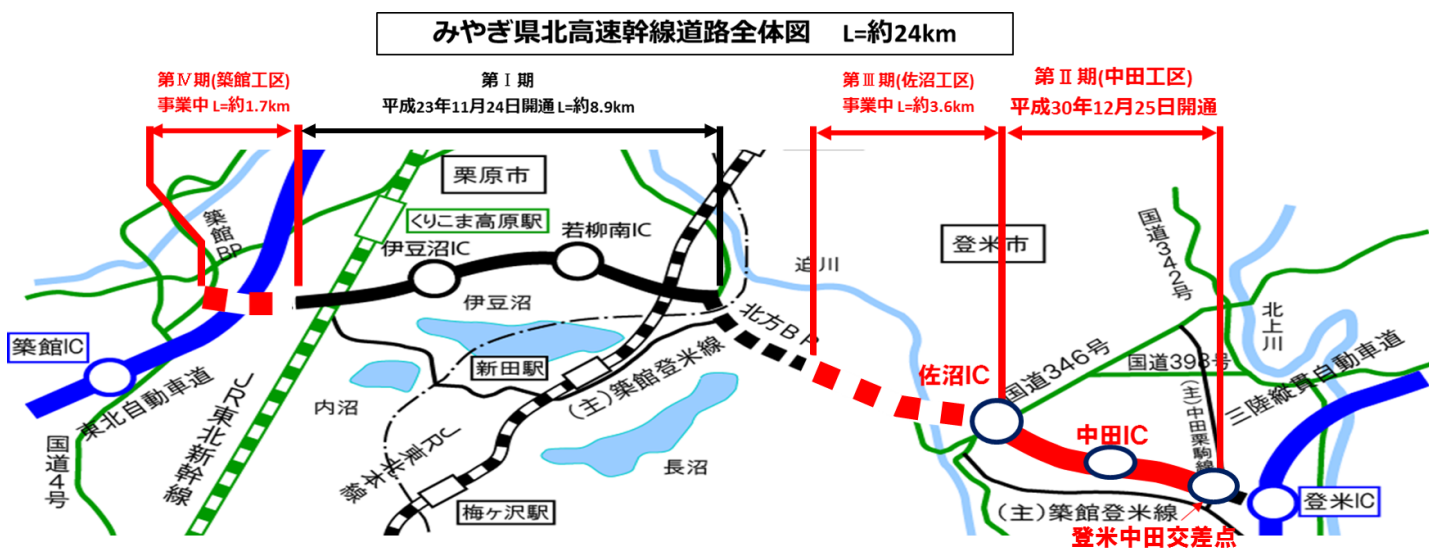
東部土木事務所登米地域事務所

平成30年12月25日にみやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）が開通しました。みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路です。

三陸縦貫自動車道登米ICから登米市中心部の佐沼ICまでの4.7キロメートル区間をⅡ期（中田工区）として、平成23年度から整備を進めてきました。この度の供用により、沿岸部と内陸部

を結ぶ広域道路ネットワークが形成され、市街地の交通渋滞緩和や、地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られるとともに、県の復興にも大いに寄与することが期待されます。

開通式では、村井知事や関係市町の長をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員及び国土交通省や復興庁などの関係機関、地元行政区長や地元住民の方々など約130名にご出席いただきました。



開通式の様子

〈整備効果〉		
◆登米市 ⇄ 南三陸町	38分 → 29分	= 9分 短縮
◆登米市 ⇄ 石巻市	60分 → 43分	= 17分 短縮

平成31年1月11日発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市町町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522